

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2019年 3月 7日

事業所名 かがやき学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		落ち着けるスペースと活動スペースを分けている。	個別支援しやすい空間を作る。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		土等室内に持ち込まれる事がある為、衛生環境の維持に努めている。	スムーズな動線が確保できている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		業務改善に活かしています。	アンケートの結果から、職員間で話し合い改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行えていないので、今後検討していく予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に積極的に参加しています。	今後も外部研修に積極的に参加して行きたいです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		しっかりアセスメントを行い計画を作成している。	職員全員でニーズや課題を分析し、計画を作成した上で支援に活かしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		様式を検討し、本人の特性や発達段階を具体的にわかるようにする等、さらに使いやすようにできるよう検討します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全員参加で立案している。	全員で意見を出し合い、より良い活動が出来るよう考え立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		新しい活動について各職員が提案してもらっている。	固定化しないよう工夫してきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日とで活動内容を検討している。	休日は滞在時間が長いので平日に出来ない外出や食育など今後多く取り入れるよう考えていきたいです。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動、集団活動を考え計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の活動や支援方法を確認している。	その日の活動や支援方法を確認し、役割分担を明確にし、今以上に個々の関わりを増やしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後または翌朝に情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳、提供記録に記録している。	連絡帳、提供記録にその日の様子や活動内容を記録し、その内容から考え次の支援に繋げていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、計画作成や見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時、学校での様子を確認し対応している。 今後も学校との情報共有を行い、連絡調整や迅速な対応に心掛けていきたい。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	現在対象者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	障がいのない子供との交流の機会がありません。現在検討中です。	他事業所が行っている小学生との交流会を検討中です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	積極的に参加する機会が見つけられていない。	今後は、参加していけるよう検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、提供記録を使い日々の様子を伝えている。	様子を言葉や文字で伝えるだけでなく、活動の様子を観ていただく機会を作っていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			変更があれば理解していただきやすいように、その都度保護者様に説明します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの相談は出来る限り対応しています。	保護者様からの相談に対し、専門職としての知識を身につけ、適切なアドバイスが出来るようにしていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった際は、迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			現在は不十分である事から、保護者様のニーズに沿った情報を提供できるよう、ホームページ等情報発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		その日の様子をわかりやすく書いています。	連絡帳や提供記録を書く上で、活動の様子が伝わりやすい表現を見つけていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時の対応マニュアル等策定し職員には周知徹底している。	保護者様への周知を徹底する事で、安心して利用していただけるよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	現在対象者なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し職員内での共有を図っている。	